

魅力ある学校づくり地域協議会通信

発行 宇都宮市教育委員会生涯学習課
魅力ある学校づくり地域協議会支援会議

平成 23 年度第 1 回地域コーディネーター研修会の様子について

多くの地域コーディネーターの参加をいただき、標記研修会が開催されました。

当日参加した方の研修をふりかえるきっかけにすることと、当日参加できなかった地域コーディネーターの方に研修会の内容を知っていただくために、研修会の記録を送付することにいたしました。地域コーディネーター活動に、活用していただければ幸いです。

第 1 回地域コーディネーター研修会

研修日時：平成 23 年 8 月 2 日(火) 研修場所：教育センター

参加者数：62 名

第 1 部 事例発表

① 地域コーディネーターとしての感想

明保小地域コーディネーター 大島和枝さん

陽東小地域コーディネーター 今井智子さん

- 1 年目は広報活動と研修会への参加が中心だった。2 年目になり、初めて学校支援ボランティア募集をした。3 年目には、自分の子どもが卒業し、学校との繋がりが細くなってしまいかと心配したが、客観的に物事を考え対応できるようになった。4 年目にしてようやく地域コーディネーターとして知ってもらえるようになった。
- 地域コーディネーター活動をする上で大切にしていることが 2 つある。1 つ目は、無理な依頼でもまずは話を聞く。断る勇気は必要だが、最初から断らない。2 つ目は、小さな成功体験を増やす。少ない人数でもよい。できる時にできる事をできる分だけやっていく。
- 地域コーディネーター活動をしていて嬉しいことは、卒業して中学生になった子が外で挨拶をしてくれること。そして、今の生活や頑張っていることを話してくれる。それがとても嬉しい。
- 地域コーディネーターをやって良かったことが 2 つある。1 つ目は、地元の人や学校の先生と出会い、繋がりができたこと。自分の知識や視野が広がった。2 つ目は、みんなが笑顔になれること。
- 地域コーディネーターとして気をつけている点は、無理のないコーディネートをすること。学校の特徴や地元のやる気、地元の特徴を生かしてコーディネートをすること。

② 小学校における具体的な活動

宝木小地域コーディネーター 大橋恵美さん

- 校長や副校長と、先生以外の大人が学校で何の役に立てるか、地域の人が入りやすい内容か、そして学校が受け入れられるかについて話し合った。その結果、花壇整備とロング昼休みに行う昔遊びの2つの活動を行うことにした。いきなり学校支援ボランティアを募集しても地域が戸惑うのではないかと考え、説明会を開くことにした。「活動しなくてもいい、興味のある人は来て下さい」というチラシを配布したところ、何人かが参加し、その後毎年のように継続開催している。
- 地域コーディネーターの仕事は、みんなが楽しく有意義な時間を過ごせるようにすること。会話と感謝の気持ちをもって、無理せずできる範囲で行っていききたい。

③ 中学校における具体的な活動

陽東中地域コーディネーター 山田葉子さん

- 中学校では先生が自身の専門教科を教えるため、小学校と比べ授業支援の機会が少ないなど、学校支援に対し前向きではない。小学校とは違う活動が必要である。
- 傍観者になる地域の人や、関心のない保護者、忙し過ぎて地域を見られない先生など、いろいろな目線があるので、地域の情報が分かるコミュニティーカレンダーを作成した。
- 地域コーディネーターとして多くの人と話をしていると、一人ひとりの立場に納得してしまう。その中で合致点を見つけ、何かあった時に頼れたり、連絡を取ったりする仲間を研修会で作ってほしい。

④ 地域コーディネーター活動で心掛けていること

晃宝小地域コーディネーター 戸部浩子さん・伊藤三千代さん

- 子どもの顔は、学校、放課後、家でそれぞれ違うものがある。様々な大人がかかわってその顔を増やせればいい。子どもが大人に心を開くことは、地域に心を開いていくということ。様々な団体と係わっていくことを心掛けている。
- 先生とつながるために先生に対してアンケートをとるだけではなく、積極的に話をするようにした。また地域の情報交換会に積極的に参加し、知らない人にも笑顔で声をかけ、顔を覚えてもらうようにした。つながることで、活動がうまくいくこともある。
- 学校（子ども・先生・保護者）が輝くために地域ができることを探し、学校・子どもに係わることが楽しいということを広めるとともに、仲間を増やしていきたい。
- 一人ではなく、二人で地域コーディネーターをするメリットは大きい。

第2部 意見交換・情報交換（一部）

- 地域コーディネーター活動は、できる時にできることをすることが大切。継続するために、無理をしないようにする。
- グループで話をしていて、地域コーディネーターが協議会を背負って立たなくてはいけないと感じている人が多いと感じた。地域コーディネーターは協議会の一員であって、自分で全てやらなければいけないわけではない。人をつなぐ・準備するのが地域コー

ディネーターの仕事。

- 他の地域コーディネーターと知り合いになったので、これから連絡をとり合うようにする。
- 学校で地域コーディネーターの認知度が低い。先生に対しての研修や講習会を開催し、地域コーディネーターの周知をしてほしい。また、同じ講習に参加して、意見を交わりたい。
- 中学校の敷居が高い。先生の専門があり、授業に入りにくい。

【アンケート】

- すべての事例発表が市内の学校だったので現実感があり参考になった。また、各地域での活動を聞く事が出来て大変勉強になった。
- 発表された地域コーディネーターさんが楽しそうに生き生きとしている姿が印象的だった。今後活動するにあたって参考にしたい。
- 「出来る事を出来る範囲で出来る時に一人で頑張らなくていい」ということが印象的だった。発表に肩の力が抜けて安心した。
- 多くの協議会で、現役保護者の理解と協力を得ることが難しいということが分かった。
- 地域コーディネーターの認知度が先生方や保護者の方に低いため、地域コーディネーターの役割を地域へどのように周知させていくか、具体例をあげた研修会、または先生や地域との交流会を開催してほしい。
- 今回のような情報交換をできる場が必要。
- 他校の方と情報交換をすることができ参考になったので、今後も横のつながりを強める研修や、地域別のグループなどにおいて話し合いをしたい。

【お知らせ】

- ・ 第2回魅力ある学校づくり地域協議会研修会について（予定）
 - 日 時：11月1日（火）10:00～12:15
 - 場 所：国本地区市民センター
 - 内 容：コミュニティスクールにおけるコーディネーターの役割など
杉並区教育委員会教育改革推進課職員
杉並区桃井第四小学校コーディネーター 他
 - 対 象：魅力ある学校づくり地域協議会関係者
 - その他：本研修会は上都賀教育事務所と河内教育事務所との共催になります。
当日の案内は、後日改めて行います。

（その他）

- ・ 本研修会において「協議会活動を見てほしい」という意見がありましたが、各協議会活動の視察を今後行っていきたいと考えております。視察日程の希望がありましたら、生涯学習課（632-2651）まで連絡をお願いいたします。